氏 名	青木 康太朗		学 位	修士(スポー)	スポーツ科学)			
担当授業 科 目	野外教育実習	9 1						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考	
	著書	自然体験活動の安全管理 (自然体験活動指導者養成講習 会 参加者用テキスト)	全国体験活動指導者認定委員会自然体験活動部会		2019年3月	共著		
	著書	安全に活動するために (保険・ リスクマネジメント)	エルビス社, 社会福祉フィ ールドワーク テキスト		2018年3月	共著		
業績(最大5点まで)	著書	雪を楽しむ外遊びプログラム スノーゲーム〜楽しく安全に遊 ぶための指導ハンドブック〜	北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター		2018年2月	共著		
	著書	スタッフトレーニングの実際	日本キャンプ協会, キャン プディレクター必携		2017年4月	共著		
	論文	青少年教育施設で発生した冬期 の傷病に関する調査報告	日本キャンプ研究 第	プ協会, キャン 22 巻	2019年2月	単著		

氏 名	浅尾 秀樹		学 位	教育学士 修士(教育学)			
担当授業 科 目		対育方法特論 対育科指導法Ⅰ,体育科指導法Ⅱ,体	本育科指導法]	II			
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考
	著書	「生涯スポーツ叢書 1 (北方圏 における生涯スポーツ社会の構 築)」	響文社		2010年3月	共著	
	著書	「北海道教育関係質疑応答集第 7号」	ぎょうせい		2012年2月	共著	
業 績 (最大5点まで)	論文	「おにごっこ」について考える	北翔大学生涯学習システ ム学部研究紀要第 11 号		2011年3月	単著	
	論文	長距離歩行行事の意義について	北翔大学生涯学習システ ム学部研究紀要第15号		2015年3月	単著	
	論文	小学校体育授業における幼児教育との接続(「遊び」概念を軸とした枠組みの移行に向けて)	北翔大学教 究紀要第3	育文化学部研 号	2018年1月	共著	

氏 名	阿部美穂子		学 位 修士 (教育学博士 (教育学			
担当授業 科 目	重複障害者の)教育課程及び指導法				
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
業 績(最大5点まで)	論文	重度重複障害児のムーブメント 活動による理解語いの獲得を 目指した実践研究	日本児童学会「児童研究」, 第90巻	2011年6月	単著	
	著書	Movement Education and Therapy Program Assessment — II Revised(MEPA-II R、重症児(者)・重度重複障がい児のムーブメント教育・療法プログラムアセスメント)	文教資料協会	2014年7月	共著	コミュニケー ション分野担 当
	著書	障がいの重い児 (者) が求める ムーブメントプログラム:MEPA- IIR の実施と活用の手引	文教資料協会	2014年7月	共著	第「校動第「特で答でなり章トの 2 特でに7 実別の要きる組「に 3 援立す」4 2 と 3 援立す」4 2 と 3 援立す」4 2 と 3 援立す」4 2 と 5 と 6 と 7 と 8 と 8 と 9
	論文	重度・重複障害のある子どもの きょうだいとその家族のため の支援プログラム開発に関する 実践的研究	東北大学大学院教育学研 究科研究年報,63巻2号	2015年6月	共著	
	著書	障害のある子どものきょうだい 支援プログラム開発に関する実 践的研究	多賀出版	2019年1月	単著	

氏 名	阿部 吉伸		学 位 学士 (教育 修士 (教育			
担当授業 科 目	木材工芸					
	著書・論文 等の別		発表・発行年月	単・共著の別	備考	
	論文	地域における工芸文化の継承に 関する検証〜熊をモチーフとし た北方圏における工芸品の可能 性	北海道教育大学紀要(秦科学編)	2014年8月	単著	
業 (最大 5 点まで)	作品	木でつなぐ。家族の絆	丹波の森ウッドクラフ 展	7ト 2018年		佳作賞受賞
	作品	森から生まれた30の木	丹波の森ウッドクラフ 展	7ト 2017年		新人賞受賞
	作品	Wagen〜サルの家族	北海道美術協会展	2010年		会友賞受賞

氏 名	安部 久貴		学士(教養) 学 位 修士(教育学) 博士(教育学)						
担当授業 科 目	生涯スポーツ	生涯スポーツ指導演習(サッカー)							
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考			
	著書 水泳指導教本 三訂版		大修館書店	2019年4月	共著	第2章「スポー ツ指導の場面 で生じるハラ スメント」			
	著書	子どもの未来を創造する体育の「主体的・対話的で深い学び」	創文企画	2017年10月	共著	第5章「コーチ ングの立場か ら学校体育へ の示唆」 担当			
業 績 (最大 5 点まで)	論文	指導者の言葉がけがユース年代 の選手のサッカー有能感に与え る影響	体育学研究 第 63 巻第 1 号	2018年6月	共著				
	論文	大学生サッカー選手における指 導者の言葉がけと自己能力評価 の関係性	大学体育学 第 13 巻	2016年3月	共著				
	論文	サッカー指導者の選手に対する 期待と声かけの関係性	学校教育学研究論集 第26巻 第1号	2012年10月	共著				

氏 名	井桁 雅臣		学 位 教育学士			
担当授業 科 目	絵画Ⅲ					
	著書・論文 等の別		出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	著書	さっぽろ市民文芸	札幌市教育文化会館	2010年	共著	
業 (最大 5 点まで)	その他	六花ファイル第3期収録作家 入選	六花文庫	2011年		
	その他	六花ファイル第6期収録作家 入選	六花文庫	2016年		
	その他	第21回道銀芸術文化奨励賞受賞	財団法人道銀文化財団	2012年		美術部門(絵画)

氏 名	井上 大樹		学 位 学士(行動科修士(教育学			
担当授業 科 目	教育原理(约	h·小),教育原理				
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	著書	格差社会における家族の生活・ 子育て・教育と新たな困難	旬報社	2014年3月	共著	IV章5節「A団 地の幼稚園に おける子育て 支援機能」を担 当
	著書	新版 教育課程論のフロンティア	晃陽書房	2018年9月	共著	第4章第3,4節を担当
業 績 (最大 5 点まで)	著書	教職概論:「包容的で質の高い教育」のために (SDGs と学校教育)	学文社	2019年9月	共著	第6章「地域社 会と学校・教 員」を担当
	論文	夜間中学における若者支援	北海道の臨床教育 学第2号	2011年7月	単著	
	論文	いじめ認知のずれに見る解決の 困難と課題	教師教育研究 第31号	2017年3月	単著	

氏 名	今井 敏勝		学 位 芸術学士			
担当授業 科 目	合奏I,指	T法,音楽科教育法 I ,音楽科教育》	±Ⅱ			
	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	著書	~音楽表現の想像から創造~	自主出版	2020年3月	単著	
	著書	中学校・高等学校教職課程 音楽科教育法(2012 年改訂版)	教育芸術社	2012年2月	共著	
業績(最大5点まで)	論文	これからの音楽教育 「器楽・ピアノ・歌唱」を使用 した音楽教育 I	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第4号	2019年1月	共著	
	論文	これからの音楽教育 「器楽・ピアノ」を使用した音 楽教育Ⅱ	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第4号	2019年1月	共著	
	論文	想像性から創造性への教育 〜音楽によるアンサンブル教育 の重要性〜	北翔大学教育文化学部研 究紀要 創刊号	2016年1月	単著	

氏 名	任 龍在	学士(法学) 修士(心身障害学) 博士(障害科学)					
担当授業 科 目	病弱者の心理	B·生理·病理,重複障害者の心理·生	理•病理				
	著書・論文 等の別		出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考	
	論文	Development and Problems of IEP Forms in Japanese Special School: Focusing on Department of Education for the Physically Challenged)	The Korean Journal of Special Education 44(2)	2009年9月	共著		
	論文	肢体不自由教育と病弱教育における重度・重複障害教育の研究 動向と課題―日本特殊教育学会 発表論文集に着目して―	筑波大学特別支援教育研 究 第4号	2009年11月	共著		
業 (最大 5 点まで)	論文	Effects of Teaching Experience and Curriculum on Teachers' Professionalism in Education of Children with Severe and Multiple Disabilities	The Japanese Journal of Special Education 47(6)	2010年3月	共著		
	論文	重度・重複障害教育におけるベ テラン教師の職能成長-男性教 師のキャリア・ヒストリーに着 目して-	障害科学研究 第36巻	2012年3月	共著		
	論文	ホーチミン市における重複障害 児の教育に対する保護者のニー ズ	障害科学研究 第39巻	2015年3月	共著		

氏 名	大石 和久		学 位	教養学士 学術修士				
担当授業 科 目	美学	美学						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考	
	論文	瞬間と持続――写真とベルクソ ニスム――	美学会『美学』第190号		2013年6月	単著		
	論文	鏡の中の師と敵――黒澤明と分 身の主題――		学文学研究科	2014年12月	単著		
業績(最大5点まで)	論文	映画を語るベルクソン ――「ア ンリ・ベルクソンが映画につい て語る」翻訳と注釈――	北海学園大学人文論集	学『北海学園大 』 第 58 号	2016年8月	単著		
	研究発表	映画と味覚	美学会·西部	『会 302 回例会	2015年2月	単独	シンポジスト	
	研究発表	Henri Bergson's View of the Cinema in Michel Georges-Michel's Interview	Internatio Associatio Aesthetics Internatio of Aesthet	n for , 20th nal Congress	2016年7月	単独		

氏 名	角田 成子		学位教育学士	:				
担当授業 科 目		『庭科指導法Ⅱ,家庭科指導法Ⅲ 『庭,家庭科指導法						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考		
	著書	『小5教育技術増刊号』(2017 指 導要録5年)	小学館	2017年2月	共著	家庭科及び特別活動担当		
	著書	『小5教育技術増刊号』(2018指 導要録5年)	小学館	2018年2月	共著	家庭科及び特別活動担当		
業 (最大 5 点まで)	著書	『小5教育技術増刊号』(2019 指 導要録5年)	小学館	2019年2月	共著	家庭科及び特別活動担当		
	に対している。		東京海上日動教育研究成事業学校研究部門	究助 2011 年	共著			
	論文	「大学生の住生活状況と満足度について」	北翔大学教育文化学符 究紀要第3号	部研 2018年1月	共著			

氏 名	片寄 ますみ	片寄 ますみ		準学士			
担当授業 科 目	音楽実習 I,	音楽実習II					
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	ピアノ学習初心者へのML システムを活用した指導法と実践―音楽実習 I を通して	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第3号		2018年1月	共著	
	論文	ピアノ学習初心者へのMLシステムを活用した指導法の実践その 2─音楽実習Ⅱを通して	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第3号		2018年1月	共著	
業 (最大5点まで)	論文	保育者・教員養成課程における ピアノ初心者の「弾き歌い」指 導法の実践と課題-音楽リテラ シー育成のために一	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第4号		2019年1月	共著	
	論文	初等教育音楽科の鑑賞における 指導の一考察―ミュージカル鑑 賞を通して一	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第5号		2020年1月	共著	
	講座・演奏 活動他	クラシック音楽講座「もっと知りたいピアノの魅力」 ピアノデュオリサイタル他	江別市中央 Duet 他	公民館	2019年5月 2019年4月他	単独	演奏とお話し

氏 名	亀山 比佐	亀山 比佐		教育学士 修士 (生涯学習学)				
担当授業 科 目	生活科概論							
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	出版社・冊子名		単・共著の別	備考	
	著書	やってみませんか 音楽ムーブ メント		北海道ムーブメント教育 研究会 30 周年記念資料編 集委員会		共著	p28, p29を担当	
	ポスター発表	動的・創造的音楽活動の可能性 〜自閉症スペクトラム児童のコ ミュニケーション能力促進を中 心に〜	日本学校心	理学会	2017年9月	単独		
業績(最大5点まで)	論文	生活科担当教員等を志望する学生の認識に関する一考察〜体験的講義「生活科概論」の実践を 通して	北翔大学教研究紀要第		2018年1月	共著		
	論文	生活科等を中核とした幼小連携・接続の推進に関する一考察 〜カリキュラムマネジメント・ モデル等の活用を通して	北翔大学短紀要第 56 号	期大学部研究 分	2018年3月	共著		
	論文	幼稚園と小学校の交流活動に関 する一考察		北翔大学教育文化学部研 究紀要第4号		共著		

氏 名	河本 洋一	可本 洋一		教育学修士			
担当授業 科 目	音楽科教育法	<u> </u>					
	著書・論文等の別	タイトル	出版社	:•冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	日本語歌唱を語る観点について の一考察~母音の感覚の検討を 通して~(査読付)	音楽表現学	第5巻	2007年	単著	
	論文	オノマトペを用いた歌唱指導の 意義に関する一考察	札幌国際大	学紀要 42 号	2011年	単著	
業績(最大5点まで)	論文	教員養成における成果としての 表現と教育としての表現の在り 方	札幌国際大実践研究	学 教師·教育 第1号	2017年	単著	
	論文	日本語歌唱を語る観点について の一考察その2 ~林光のオペラ「あまんじゃくとうりこひめ」 にみる記譜上の工夫と歌われる 日本語	札幌国際大	学紀要 48 号	2017年	単著	
	論文	日本におけるヒューマンビートボックスの概念形成〜世界的な潮流と日本人ビートボクサー "Afra"との関わりから〜(査読付)	音楽表現学	第17巻	2019年	単著	

氏 名	北村優明		学 位	体育学士				
担当授業 科 目	生涯スポーツ	/ (バドミントン)						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	:•冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考	
業績	著書	北方圏における生涯スポーツ社 会の構築(生涯スポーツ叢書)	響文社		2010年3月	共著	第「け成題「ン技6成構担1に者と3ンる、者ム望第1に者と3ンる、者ム望第1に者を決定の分がに対すが表示展第に者と3ンる、者ム望第に者と3ンる、者ム望第に者と3ンる、者ム望第1に者と3と3、者ム望	
(最大 5 点まで)	論文	バドミントン選手の運動能力の 研究その1平衡機能の検討	北海道女子 第9号	短期大学紀要	1976年12月	単著		
	論文	バドミントンにおける日本・韓 国・中国のジュニア選手の戦 術・得点パターンの比較分析	日本体育学	会大会予稿集	2006年	共著		
	論文	北海道中学生バドミントン強化 選手の発達と競技成績における 関連性の検討	北翔大学生部研究紀要	涯スポーツ学 第 3 号	2012年3月	共著		

氏 名	金誠		学 位	博士(学術)			
担当授業 科 目	スポーツ史						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	:•冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	総力戦体制における人的資源と しての朝鮮民衆:スポーツの否 定と兵的動員の正当化へ	民衆史研	F究第 98 号	2020年2月	単著	
	著書	スポーツの世界史	f	色出版	2018年9月	共著	
業 績 (最大5点まで)	著書	近代日本・朝鮮とスポーツ:支配と抵抗、そして協力へ	塙	書房	2017年12月	単著	
	論文	リットン調査団と満洲国建国記 念連合大運動会:関東軍による 宣伝・宣撫工作としてのスポー ツ	札幌大学総	合論蔵第44号	2017年10月	単著	
	論文	スポーツにみる植民地権力とナショナリズムの相克:第11回オリンピック競技大会(ベルリン)の金メダリスト孫基禎を中心に	現代韓国朝	鮮研究第 16 号	2016年11月	単著	

氏 名	工藤憲	工藤憲		学 位 学士 (教育学)				
担当授業 科 目	生涯スポーツ	/指導演習 (バレーボール)						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考	
	著書	バレーボールスキルアップドリル 小学生バレーの指導者を目 指す人の「必携バイブル」	日本文化出	版	2014年7月	単著		
	共汗・共涙・共生 子どもを育 著書 てるジュニアバレーボール指導 論		星雲社		2011年7月	単著		
業績(最大5点まで)	論文	バレーボールを通じた学生指導 者の地域貢献活動について-札 幌市A区体育館における初心者 小学生指導活動から-		方圏生涯スポ ンター年報第	2017年3月	共著		
	論文	中高生を対象としたバレーボー ル授業におけるパス技術の指導 方法について	北翔大学生部研究紀要	涯スポーツ学 第8号	2017年3月	共著		
	論文	スポーツ系大学生に対するバレーボール技術分析および効果的 指導法の提案について-バレーボール統計分析ソフト Data Volley・Data Videoを活用して-	北翔大学生部研究紀要	涯スポーツ学 第 7 号	2016年3月	共著		

氏 名	熊田 広樹		学 位	学士(外国研究修士(言語学)	完)		
担当授業 科 目	保育内容(言	言葉)					
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	:·冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	著書	特別の支援を必要とする子ども の理解―共に育つ保育を目指し てー	ナカニシヤ	出版	2018年10月	共著	第1言の第1言の第1言の第1言の第1言の第2章を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を
業 績 (最大 5 点まで)	著書	子どもとむかいあう―教育・保 育実践の記述、省察、対話―	ratik		2016年9月	共著	第4章 発達支 接地に があるに があるに を がい で で と 地 が り が り が り が り り に と 地 が り が り に り は り は り に り は り に り れ り に り れ り れ り れ り り り り り り り り
	論文	「言葉に対する感覚」に焦点を 当てた保育者養成短期大学にお ける授業実践―保育内容演習 (言葉) における取り組み―	旭川大学短 第48号	期大学部紀要	2018年3月	単著	
	論文	軽度知的障がいが疑われた中学 生に対する漢字指導の経過	旭川大学短 第 47 号	期大学部紀要	2017年3月	単著	
	研究発表	母子通園施設における軽度吃音 児へのST 指導経過一幼児期から 学童期にかけてのかかわり		ベコミュニケー 学会学術講演 一発表	2014年5月	共同	筆頭演者

氏 名	小屋 亮子	小屋 亮子		学士 (芸術工学) 修士 (デザイン学)				
担当授業 科 目	色彩計画							
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考	
	論文	「札幌の都市景観色の現状調査 と札幌の景観イメージ向上への 提案」	札幌市立大学大学院デザ イン研究科修士論文		2013年2月	単著		
	その他	1. 札幌昭和会(塗装業界の団体) いい色@委員会フォーラムに て、「札幌景観70色を使った集 合住宅の塗り替えイメージ調 査」についてパネル発表			2008年11月	単独		
業績(最大5点まで)	その他	2. 「枠わくアート展」(NPO ゆう 主催) に「4season」など2作品 (切り絵) を出展。			2015年6月	単独		
	その他	3. 景観・色彩・まちづくり環境 セミナー【街づくり「景観カラ ーガイドライン」に向けて】で、 「札幌市中央区の景観色彩調査 と塗り替え提案」をパネル発表			2017年2月	共同		
	その他	4. 「百まい襖展」(百まい襖展実 行委員会主催)に「映える」な ど2作品(フラワーデザイン) を出展。			2017年9月	単独		

氏 名	小山 尋明		学 位	体育学士				
担当授業 科 目	生涯スポーツ指導演習(武道)							
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	:・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考	
業 績(最大5点まで)	論文	道都大学生の体力・運動機能力調査	道都大学紀部 第2号		2008年3月	共著		

氏 名	近藤雄一郎	ß	学 位 学士(生涯教育学) 修士(教育学) 博士(教育学)				
担当授業 科 目	体育原理						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考	
	アルペンスキー競技における 著書 術戦術指導一初級者及び中級 を対象とした実証的研究—		中西出版	2013年9月	単著		
			北翔大学生涯スポーツ学 部研究紀要第7号	2016年3月	共著	「評価」担当	
業 績 (最大5点まで)	論文	体育授業におけるバレーボール・オーバーハンドパスの指導 実践:進藤氏が提唱した教授プログラムの追試検証	北海道大学大学院教育学 研究院紀要第129号	2017年12月	共著	「研究の立案・総括、授業 実践、執筆責任 者」担当	
	論文	教職課程科目「教育方法論」に おける授業づくりに関する一考 察:アクティブ・ラーニングの 視点を生かした授業実践	北翔大学生涯スポーツ学 部研究紀要第9号	2018年3月	共著	「評価」担当	
	著書	スポーツの主人公を育てる体		2018年3月	共著	第1部第2章 ¹³ 学習の場の考 え方と作り方」 52-55頁を竹田 唯史と共同で 執筆	

氏 名	作田文子	作田 文子		準学士				
担当授業 科 目	生涯スポーツ	生涯スポーツ指導演習(体つくり運動)						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社•	冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考	
	研究発表 「子どもの姿勢と運動」		日本コアコンディショニ ング協会		2015年9月	単独		
業 績 (最大5点まで)	研究発表	「発達が気になる子の運動と 知識」	運動指導者向催発表	可けに自主開	2017年3月	共同		
	論文	子どもが楽しみながら意欲的に 取り組む「体つくり運動」の事 例	北翔大学北方 ーツ研究セン 10 号		2020年3月	共著		

氏 名	笹木 美幸		学 位	修士(教育学	・発達脳科学)		
担当授業 科 目	肢体不自由者	fの心理・生理・病理					
	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考
	事例発表	自閉症スペクトラム障害の感覚 調整に着目した早期介入の一例	北海道作業	療法学会	2012年	共同	
	研究発表	乳幼児期における歩行獲得まで の運動の発達変異と感覚調整	第30回感覚統合学会研究大会		2012年	共同	
業 (最大5点まで)	事例発表	感覚面からの介入が離乳食のす すめ方に影響した事例」~赤ち ゃんサロンの経験から~	第32回日本研究大会	×感覚統合学会	2014年	共同	
	研究発表	運動発達遅滞と感覚偏倚を持つ 乳幼児の特徴と社会性の発達の 傾向	日本赤ちゃ	ん学会	2015年	単独	
	研究発表	乳幼児期における感覚調整障害 と社会性の発達との関連性につ いて	第50回日本	工作業療法士学	2016年	共同	

氏 名	佐藤 淳一		学 位	博士(音楽)			
担当授業 科 目	器楽基礎演習	I I , 器楽基礎演習Ⅱ, 器楽表現演習	☑ I ,器楽表	見演習Ⅱ			
	著書・論文等の別	タイトル	出版社	:•冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	研究論文『クロード・ドビュッシー《ラプソディ》を巡る諸問題に対する考察 -Elise Hall という淑女を讃えて-』		ニスト 第24 ソフォーン協	2013年2月	単著	31-89 頁
	演奏	リサイタル『佐藤淳一サクソフ ォン・リサイタル「ライブ・エ コロニクス!」』	トーキョー ト本郷	ワンダーサイ	2013年3月	単独	
業 績 (最大5点まで)	演奏	リサイタル『B→C 佐藤淳一 サ クソフォン・リサイタル』	東京オペラタル・ホー	シティ リサイ ル	2015年3月	単独	
	演奏	リサイタル『佐藤淳一 サクソフ ォン・リサイタル with ライ ブ・エレクトロニクス』	札幌コンサートホール Kitara 小ホール		2017年3月	単独	
	演奏	リサイタル『佐藤淳一 サクソフ ォン・リサイタル フランス・エ レクトロニクス音楽の周辺』	東京オペラタル・ホー	シティ リサイル	2019年12月	単独	

氏	名	重成 敏史		学 位 体育学士					
担当科	台授業 目	生涯スポーツ	生涯スポーツ指導演習(陸上競技)						
		著書・論文 等の別	タイトル	出版社	:•冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考	
		論文	日本学生一流女子走幅跳選手に おける競技記録および各種 垂直跳パフォーマンスの変化 - 大学3年生から4年生まで・		方圏生涯スポ マンター年報	2014年4月	共著		
業(最大	績 5点まで)	指導歴	北海道恵庭南高等学校(1991~ 2012)全国高校総体 砲丸投、 円盤投、七種競技 延べ4回優 勝、全国高校駅伝 5回出場						
		指導歴	北翔大学陸上競技部コーチ (2012~2013)						
		指導歴	北翔大学陸上競技部監督 (2014 〜現在に至る) 全国大学女子駅 伝大会4回出場						

氏 名	品田 吉博		学 位	体育学士				
担当授業 科 目	生涯スポーツ	涯スポーツ指導演習(陸上競技)						
	著書・論文等の別	タイトル	出版社	:•冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考	
業 (最大 5 点まで)	論文	全国大会入賞経験のある女子走幅跳選手の踏切時キネマティクス:2014年と2016年の比較		方圏生涯スポ ンター年報 第	2018年3月	共著		
	研究資料	北海道の短距離事情について— 最近の活躍に関する現況報告	(社)日本学生 陸上競技研	陸上競技連合 究	2004年4月	単独		

氏 名	柴 勤		学 位	文学修士	学修士				
担当授業 科 目	美術史								
	著書・論文等の別	タイトル	出版社	:•冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考		
	論文	モンパルナスの芸術家村	,	エコール・ド・ 禄 岡山県立美 新聞社	2010年7月	共著			
	論文	小川原脩の世界	「美術の北 北海道大学	大展」図録	2014年10月	共著			
業 績 (最大5点まで)	論文	異邦人のパリ		・ド・パリ」展 6 回共同巡回展	2015年8月	共著			
	研究発表	研究発表 マルク・シャガールル〜エコー 北海 ル・ド・パリのユダヤ人画家 美術		代美術館 018	2018年8月	単独			
	研究発表	エコール・ド・パリの時代にマ レヴナという画家がいた!	北海道立近 美術講座 20		2019年7月	単独			

氏 名	柴田 啓介		学士 (法学) 修士 (教育学) 博士 (教育学)					
担当授業 科 目	生理学	上理学						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考		
	著書	伸張性筋活動による筋損傷とト レーニングへの応用	NTS 出版. 『筋肉研究最前線』第 1 章第 5 節	2019年9月	単著			
業績	論文	Comparison between two volume-matched squat exercises with and without momentary failure for changes in hormones, maximal voluntary isometric contraction strength and perceived muscle soreness	Journal of Strength and Conditioning Research	印刷中	共著			
(最大5点まで)	論文	Effects of prolonging eccentric phase-duration in parallel-back squat training to momentary failure on muscle cross sectional area, squat 1RM and performance tests in university soccer players.	Journal of Strength and Conditioning Research	印刷中	共著			
	報告書	筋肥大や筋力・パワー増強を目 的としたレジスタンス運動が運 動後の筋機能に及ぼす影響.	一般社団法人 ミズノス ポーツ振興財団	2016年4月	共著			
	総説	飽くなき向上を目指して:レジスタンストレーニングにおける ピリオダイゼーション (特集 ブレークスルーのために).	ブックハウス HD. トレーニング・ジャーナ ル, 36(2) 23-28	2014年2月	単著			

氏 名	澁谷 俊彦		学 位	学 位 準学士(専攻科修了)				
担当授業 科 目	グラフィック	· デザイン I ,グラフィックデザイン	∕ II					
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	· 冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考	
	著書	第3回柴橋伴夫「安田侃と大理 石文化」 - 柴橋伴夫が考察する 安田芸術の鼓動と宇宙観 - (単 著)	Sapporo (SALA) 2010.	re Report of Art Labo .4-2012.3 サ トラボ「サラ」	2012年	単著		
	著書	第 10 回若菜彩人「表現とテク ノロジー、現実の拡張形」 一拡 張現実とアートの関わり、現状 認識とその未来形の模索一			2012年	単著		
業 績(最大5点まで)	論文	絵画の境界線をめぐるインスタ レーションの新展開」	北海道芸術海道芸術学	論評第1号 北 会学会誌	2008年12月	単著		
	その他	「札幌文化奨励賞」受賞			2014年			
	その他	「北海道文化奨励賞」受賞			2017年			

氏 名	白石 淳		理学士、学士(法学) 教育学修士 博士(教育学)				
担当授業 科 目	教育原理(均	ኯ∙ / 小)					
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子	名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	「教養」としての教育学を学修 する意義-授業実践における学 生の視点からの検討-	「看護福祉学部紀 海道医療大学)23 号	_	2016年12月	単著	87-93 頁
	論文	評価する教育方法とその修得上の課題 - 学生の評価から教員が必要とする教育方法とその学修上の課題 -	「看護福祉学部紀」 海道医療大学)24号		2017年12月	単著	59-66 頁
業績(最大5点まで)	論文	不本意感のある学生の学業継続 を支える要因― 福祉系学科に おける事例から分析の視点を考 える	「福祉文化研究」 祉文化学会)第26		2017年3月	単著	78-88 頁
	論文	教育実習が学生にもたらす学修 効果と教職課程―実習内容と学 修効果から教職課程入門。教職 課程の指導を考える―	「看護福祉学部紀」 海道医療大学)第	_	2018年12月	単著	83-91 頁
	論文	「教育」の意義に関する一考察 ーその歴史・思想を踏まえなが らその意義を考えるー	「地域創成学」(地 学会)Vol.7、No.1、		2018年12月	単著	58-67 頁

氏 名	諏江 康夫	夢江 康夫 学 位 学士 (文学) 修士 (文学)					
担当授業 科 目		ช育史特論,教職研究特論 矧)活動及び総合的な学習の時間のオ	指導法,教育	课程論,特別活動	動論(小)		
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	概観 この十年	北海道高等十周年記念	学校長協会六 誌	2009年1月	単著	教職員の資質 向上等を担当
業 (最大 5 点まで)	論文	北海道における高等学校教育課程編成・実施の課題 - 次期学習指導要領等に向けて -		方圈学術情報 年報 vol. 7	2015年10月	単著	
	論文	教職課程科目「特別活動の指導 法」の一考察	北翔大学教 究紀要 創	育文化学部研 刊号	2016年1月	単著	
	論文	教職課程科目「総合的な学習の時間の指導法」の一考察	北翔大学教 究紀要 第	育文化学部研 3号	2018年1月	単著	

氏 名	須賀 朋子		学士(文学) 修士(特別支援教育学) 博士(学術)					
担当授業 科 目	教育心理学	教育心理学(幼・小)						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考		
	著書	中学生へのドメスティックバイ オレンス予防啓発に関する研究	風間書房	2015年7月	単著			
	著書	授業で活用できる高校生のため の DV, デート DV 予防教育プログ ラム - CD 付	かりん舎	2017年6月	単著			
業績(最大5点まで)	著書	保育士・教師がDV被害を受けた 親子を理解するための本	かりん舎	2018年6月	単著			
	著書	中学生・高校生のための暴力予 防教育プログラム	かりん舎	2020年1月	単著			
	著書	面前 DV, 虐待被害者の叫び	かりん舎	2020年4月	単著			

氏 名	菅井 留美子	2	学 位	教育学士					
担当授業 科 目	英語科概論、	英語科概論、英語科指導法							
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	:•冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考		
業 績 (最大 5 点まで)	論文	小学校教員養成課程における小学校外国語教育及び教育課程への対応-小学校外国語教育の指導向上に向けて-	北翔大学教 究紀要第3	育文化学部研 号	2018年1月	共著			
	論文	「次期学習指導要領」における 小学校外国語教育の在り方	北翔大学教 究紀要第3	育文化学部研 号	2018年1月	共著			

氏 名	菅原 克弘		学位教育学士			
担当授業 科 目	作曲法		,			
	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	CD	公民館の歌「自由の朝」(山口晋 一作詞、下總皖一作曲) 混声合 唱と吹奏楽用の編曲作品	第 40 回全国公民館研究集 会東京大会記念 CD	2018年11月		演奏:陣内麻友 美、小出あつ き、陣内直、中 原聡章、M ウ インドアンサ ンブル
	編曲作品	「リュートのための古風な舞曲 とアリア 第三組曲」(0. レスピ ーギ作曲) サクソフォン8重奏 用	ティーダ出版	2016年8月	単独	
業 (量大5.6まで)	編曲作品発表	『楽劇「ラインの黄金」より』(R. ワーグナー作曲)吹奏楽用	未出版	2018年8月 9月 12月		演63 四奏 (1) (1) (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4
(MA) in a C)	編曲作品発表	HTB 開局 50 周年記念テーマソン グ「ハイタッチ」(Rihwa Ver.) 吹奏楽用	未出版(HTB)	2019年1月 11月		演防ニュンの 119 大学 119 大学 119 大学 119 大学 119 大学 120 大学 120 大 120
	編曲作品発表	バレエ音楽「シンデレラ」より 「 Introduction 〜 Waltz 〜 Midnight〜Amoroso」(S. プロコ フィエフ作曲)吹奏楽用	未出版	2019年8月 9月 11月		演 44 回奏ル 中 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

氏 名	鈴木 佳代		学 位	教育学士			
担当授業 科 目	音楽実習 I,	音楽実習Ⅱ					
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	ピアノ学習初心者へのMLシステムを活用した指導法と実践―音楽実習 I を通して―	北翔大学教 究紀要 第	育文化学部研 3号	2018年1月	共著	pp. 173~184
業 (最大 5 点まで)	論文	ピアノ学習初心者へのMLシステムを活用した指導法の実践その2-音楽実習Ⅱの演習を通して-	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第3号		2018年1月	共著	pp. 287~299
	論文	保育者・教員養成におけるピア ノ初心者の「弾き歌い」指導法 の実践と課題―音楽リテラシ― 育成のために―	北翔大学教 究紀要 第	育文化学部研 4号	2019年1月	共著	pp. 101~116
	論文	初等教育音楽科の鑑賞における 指導の一考察―ミュージカル鑑 賞を通して―	北翔大学教 究紀要 第	育文化学部研 5 号	2020年1月	共著	pp. 89~98

氏 名	髙屋敷 亨子 位						
担当授業 科 目	生涯スポーツ	/ (水泳·水中運動)					
	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	北翔大学水泳授業におけるスポ ーツ専攻学生の水泳能力と指導 法	北翔大学生涯スポーツ学 部研究紀要第7号		2016年3月	共著	pp. 73–78
	指導歴	江別市主催「水中運動教室」講師(2003年~現在)					
業 績 (最大5点まで)	指導歴	NPO 北海道水中運動協会主催「水中運動指導員」養成講習会講師(2004年~現在)					
	指導歴	NPO 北海道水中運動協会の依頼 で安平町、赤平市、利尻富士町、 天塩町での水中運動教室、着衣 泳教室講師 (2010 年~現在)					
	指導歴	ほのかスポーツクラブ 水泳水中運動指導(2014年7月 〜現在)					

氏 名	堂徳 将人		学 位	学士(経済学)				
担当授業 科 目	教育原理							
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	出版社・冊子名		単・共著の別	備考	
	著書 「社会に開かれた教育課程を実 現する高校」		学事出版		2019年12月	共編著		
	著書	「高校生を主権者に育てる」	学事出版		2015年12月	共編著		
業 (最大 5 点まで)	著書	「高校教育の未来」	学事出版		2012年12月	共編著		
	論文	「デューイの教育思想を再考察する」	北海道師範塾研究紀要第5号		2017年3月	単著		
	論文	「移行期における教育課程経営 上の課題と課題解決の方策」	北海商科大 第1号	学論集第2巻	2013年2月	単著		

氏 名	中川洋一		学 位	教育学士			
担当授業 科 目	社会科指導法	云Ⅱ,社会科指導法Ⅲ					
	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	指導内容の価値性を高める授業 構築の教育方法	北翔大学教 究紀要 第	育文化学部研 3号	2018年1月	単著	
	論文	社会科の授業改善の方向性を能 力育成の観点から探る〜次期学 習指導要領を見据えて〜	北翔大学教 究紀要 第	育文化学部研 2号	2017年1月	単著	
業 績(最大5点まで)	著書	くらしを支える税 (札幌市小学 校社会科学習資料)	札幌地区租議会	税教育推進協	2013年10月	共著	全ページ
	論文	少年非行、携帯電話やインター ネット、学級経営上の諸問題、 虐待、小1プロブレム、いじめ に関する調査	全国連合小	学校長会	2013年3月	共著	P92-115執筆担 当
	著書	札幌市民の戦争体験	札幌市教育	委員会	2012年3月	共著	全ページ

氏 名	中澤幸子	中澤 幸子		学士(教育学)修士(教育学)			
担当授業 科 目	病弱教育						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	:•冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	著書	特別支援学校の学習指導要領を 踏まえた「病気の子どものガイ ドブック」	ジアース教育新社		2012年3月	共著	第5章第3節 「退院後の児 童生徒への指 導事例」担当
	論文	思春期小児がん患児の療養生活 を支える支援	山梨障害児 要8号	教育学研究紀	2014年2月	単著	
業 績 (最大5点まで)	論文	一般病床に長期入院している超 重症児の生活に関する一考察	小児保健研号	究第 74 巻第 5	2015年9月	単著	
	論文	特別な支援を必要とする子ども と家族の支援に関する調査研究 一病弱特別支援学校在籍児の乳 幼児時期から青年期の困難の分 析一	浜松学院大 14 号	学研究論集第	2017年12月	共著	
	著書	幼児教育方法論	学文社		2019年4月	共著	第6章「子ども の発達と特性 を知る」担当

氏 名	永野 光一		学 位	芸術学士				
担当授業 科 目	ドローインク	Ť I						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	· 冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考	
	論 1 /#/45 (2) 手(板(7) 表現 万) 左 / 七 ナ			涯学習システ 紀要 第 14 号	2014年3月	単著		
業 績 (最大 5 点まで)	受賞	第69回二紀展 文部科学大臣賞 受賞	一般社団法	人 二紀会	2015年	単		
	受賞	第67回二紀展 宮本賞受賞	一般社団法	人 二紀会	2013年	単		
	受賞	第43回二紀展 宮永賞受賞	一般社団法	人 二紀会	1989年	単		

氏 名	中村恵		学 位 準学士				
担当授業 科 目	生涯スポーツ	/ (水泳・水中運動)					
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考	
業 績 (最大 5 点まで)	論文	北翔大学水泳授業におけるスポ ーツ専攻学生の水泳能力と指導 法	北翔大学生涯スポーツ学 部研究紀要 第7号	2016年3月	共著		
	論文	水泳授業におけるスポーツ専攻 学生の水泳経験と泳力に対する 意識	北翔大学生涯スポーツ学 部研究紀要 第8号	2017年3月	共著		

氏 名	中山 章		学士(薬学) 修士(薬学) 博士(薬学)			
担当授業 科 目	薬理概論					
	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	学校保健室備え付け医薬品に関する調査 ~札幌市内小学校におけるアンケート調査から~	札幌学校薬剤師会雑誌 vol. 48	2013年3月	単著	
	論文	札幌市立小・中・高等学校にお ける健康教育に関するアンケ ート調査	札幌学校薬剤師会雑誌 vol. 49	2014年3月	単著	
業 績 (最大5点まで)	論文	アクティブラーニングにおける 学習効果の視覚化と教育改善 への取り組み	ICT 活用教育方法研究 Vol. 17	2014年11月	共著	
	論文	札幌学校薬剤師会における薬物 乱用防止教育の取り組み ~危 険ドラッグリーフレット作成及 び教育実践~	札幌学校薬剤師会雑誌 vol.50	2015年3月	単著	
	論文	小学校における学校環境衛生教 育の実践について	札幌学校薬剤師会雑誌 vol.52	2017年3月	単著	

氏 名	西塚 拓海		学 位	臨床心理学士 臨床心理学(修士)				
担当授業 科 目	教育心理学							
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	· 冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考	
	研究発表	高校生の学校適応における補償 方略の位置づけ	日本教育工	学会	2015年9月	共著		
業 (最大 5 点まで)	研究発表	高校生の感情価における社会的 スキル・認知的コーピングの役割一構造方程式モデリングによ る認知行動モデルの検証	日本カウン	セリング学会	2015年8月	共著		
	研究発表	認知的再評価のサブタイプにお けるストレス反応の比較	日本カウン	セリング学会	2015年8月	共著		
	論文	むちゃ食いを行っている者が有 する心理学的要因 メタアナリ シスによる検討	臨床心理学		2015年	共著		

氏 名	長谷川 由横	寸	学 位	堂 学士 (人文学)				
担当授業 科 目	生涯スポーツ	生涯スポーツ指導演習(ダンス)						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	:•冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考	
業 績 (最大 5 点まで)	著書	ヒップホップのリズムで踊るグ ループ創作ダンス	平成25年原ダンス資料		2014年	共著		
	論文	交流を主体とした「現代的なリ ズムのダンス」の学習モデルに ついて	北翔大学生部研究紀要	涯スポーツ学 第7号	2016年3月	共著		

氏 名	畠山 綾子		学 位	準学士			
担当授業 科 目	生涯スポーツ	生涯スポーツ(水泳・水中運動)					
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
業 績 (最大5点まで)	論文	水泳授業におけるスポーツ専攻 学生の水泳経験と泳力に対する 意識	北翔大学生涯スポーツ学 部研究紀要第8号		2017年3月	共著	

氏 名	八條 美奈子		学 位	位 修士 (教育学)				
担当授業 科 目	器楽基礎演習	習Ⅰ,器楽基礎演習Ⅱ,器楽表現演習	習Ⅰ,器楽表	見演習Ⅱ				
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	:•冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考	
	演奏会	「八條美奈子フルートリサイタ ル」開催	実行委員会	主催	2010年9月	単独	於:札幌ザ・ルーテルホール	
W At	作品発表	作曲作品「Cheerful Morning!」	未出版		2013年10月	単独	演奏会「フルートレボリューション from 札幌 Vol. 2」で初演	
業 績 (最大 5 点まで)	論文	吹奏楽における表現活動の多様性に関する研究(2)~フルート四重奏曲の作曲を通して~	1	涯学習システ 紀要 第 14 号	2014年3月	共著	担当執筆掲載 頁:pp.59~72	
	研究発表	「フルート音楽の新たな可能性 を求めて」	北海道芸術	 学会	2016年11月	単独	フルート五重 奏による実演 付き発表	
	演奏会	「第1459 回札幌市民劇場 八條 美奈子フルートリサイタル〜フ ルートの旅」開催	札幌市民芸 会他主催	術祭実行委員	2019年9月	単独	於:Kitara 小 ホール	

氏 名	花輪 大輔	· 大輔		学 位 学士(教育学) 修士(教育学)				
担当授業 科 目	美術科教育法	云Ⅰ,美術科教育法Ⅱ						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	出版社・冊子名		単・共著の別	備考	
	著書 図画工作科・美術科教育法		建帛社		2019年3月	共著		
	論文	教育大学生と小学生の「絵に表す」題材についての認識のズレ	北海道教育大学紀要(教育 科学編) 68 巻 1 号		2017年8月	共著		
業績(最大5点まで)	著書	図画工作・基礎造形	建帛社		2016年4月	共著		
	論文	中学生の美術科に関する課題価 値について I	美術教育学大学美術教		2015年3月	単著	レフリー論文	
	論文	中学校美術科における教科経営 に関する検討課題 I -鑑賞の授 業実践および授業改善の取り組 みから-	美術教育学 大学美術教		2013年3月	単著	レフリー論文	

氏 名	藤本和彦	和彦		教育学士			
担当授業 科 目	彫刻Ⅲ						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考
	研究発表	ョリシロ-洞窟のフォークロア-	ヨリシロ-洞窟のフォーク ロア-/CAI 02 raum1/札幌		2010年12月	単独作品	個展
	研究発表	Worldly Desires	光州·北海道交流展/国立 博物館/韓国·光州広域市		2014年11月	単独作品	グループ展参加
業 (最大 5 点まで)	論文	「共同制作による空間造形の考 察」	札幌大谷大学研究紀要 47 号		2017年3月	共著	p36-p44 担当
	研究発表	現象界 -秩序と混沌-	記憶素子 -丸山隆と教え子たち- 本郷新記念札幌彫刻美術 館/札幌		2017年10月	単独作品	グループ展参加、実行委員会 委員長
	研究発表	現象界・不在・影	藤本和彦展レタラ/札	/ギャラリー 幌	2019年12月	単独作品	個展

氏 名	枡谷 隆男		学 位	芸術学士			
担当授業 科 目	音楽科教育法	EIV					
	著書・論文等の別	タイトル	出版社	:•冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	著書	伝統音楽-アイヌ音楽	音楽之友社 2 指導の	・高校生の音楽 手引き	2014年	共著	
	著書	伝統音楽ーアイヌ音楽	音楽之友社	·ON!2 指	2014年	共著	
業 (最大 5 点まで)	論文	生涯学習につながる音楽鑑賞教 育の実践と課題 - 「音楽」が伝 えられることは何か	北海道高等学校教育研究 会研究紀要第51号		2014年3月	単著	
	連載	音楽授業でのリコーダーを考える 木管リコーダーが育む豊かな「心」1~4			2014~2015年	単著	2014. 7, 2014. 1 0, 2015. 1, 2015 . 4
	連載	リコーダーよもやま話 1~32		る!プロジェ リコーダー第3 !	2012年4月~2020年1月	単著	

	氏 名	松本 裕也		学 位	学士 (スポーツ教育学)				
	担当授業 科 目	生涯スポーツ指導演習(器械運動)							
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	上・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考		
	業 績(最大5点まで)	針(ま)マナン)ナス /公士/巡士(共同庫二)		北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報 第8号		2018年3月	共著		

	氏 名	三上 薫		学 位	専門士(看護師)						
	担当授業 科 目	野外教育実習	野外教育実習								
		著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考			
	業 績 (最大5点まで)	論文	大学生の健康診断と生活習慣予 防に関する考察	北翔大学人 第15号	間福祉研究	2012年3月	共著				
		論文	大学生の健康診断と生活習慣予 防に関する継続事例にみる効果 の考察	北翔大学人 第16号	間福祉研究	2013年3月	共著				
_		論文	学生相談およびフリースペース の利用が大学生に及ぼす効果	全国大学保 第53号	健管理協会誌	2016年3月	共著				

ī

氏 名	八子 直子		学 位	教育学士	教育学士			
担当授業 科 目	絵画Ⅱ	絵画Ⅱ						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	:•冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考	
	著書	70 年新生する全道展	全道展 70 周 冊子	1年記念企画展	2015年	共著		
	著書	つながろう展	つながろう展リーフレッ ト (まちづくり会社)		2019年	共著		
業 (最大5点まで)	著書	中日韓国際交流美術展	黒龍江省美術館図録		2018年	共著		
	著書	2+2 北海道・光州美術交流展	2+2 北海道・光州美術交 流展 2 0 1 8 実行委員会 図録		2018年	共著		
	著書	第 29 回道銀芸術文化奨励賞受賞記念 八子直子展一回顧述—	記念個展リーフレット (道銀文化財団)		2020年	単著		

	氏 名	吉澤 正伸		学 位	教育学士	士					
	担当授業 科 目	生涯スポーツ	生涯スポーツ指導演習(武道), 生徒指導論(進路指導を含む)								
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考				
	業 績 (最大5点まで)	論文	体育授業における武道(柔道)の 在り方	北翔大学生涯スポーツ学 部研究紀要第7号		2016年3月	共著				
		論文	アクテイブ・ラーニングを取り 入れた保健体育科教育法につい て: 授業コンサルテーション の実施により	北翔大学生涯スポーツ学 部研究紀要第8号		2017年3月	共著				
		論文	アクティブラーニングと学生の 授業評価を取り入れた保健体育 科教育法の展開について	北翔大学生涯スポーツ学 部研究紀要第9号		2018年3月	共著				

氏 名	吉田 耕一郎		学 位	教育学士 教育学修士			
担当授業 科 目	こども理解						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名		発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	幼稚園間の学び合いの検証	北見地方私立幼稚園連合 会研究集録第27号		2016年7月	単著	
	研究発表	認定こども園移行に伴う様々な 取り組みを探る I	日本保育学会		2017年5月	単独	
業績(最大5点まで)	研究発表	未満児の発達に沿った保育援助	幼児教育実践学会		2018年8月	単独	
	研究発表	研究者との協働を活かした園内 研究(1)遊びの場の実態把握 とアセスメントシートの作成	日本保育学会		2019年5月	単独	
	研究発表	主体的・対話的で深い学びを目 指して	幼児教育実践学会		2019年8月	単独	

氏 名	吉田 聡美		学 位	学士 (人間学) 修士 (人間学)			
担当授業 科 目	スポーツ心理	世学					
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社	· 冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	研究発表	Examination of Rapid Correction of Weightlifting Techniques using Old Way/New Way Focused on the Stability of Correction and Psychological Chang	アジア南太平洋スポーツ 心理学会		2014年8月	共著	
	著書	基礎から学ぶスポーツ心理学 改訂版	中西出版		2016年4月	共著	6 章7章 10 章 13章14 - 3章, キーワード担 当
業 績 (最大 5 点まで)	著書	スポーツメンタルトレーニング 教本	日本スポーツ心理学会編		2016年12月	共著	5章コラム7章 6担当
	研究発表	新旧対処法による社会人選手の 動作修正の試み一習慣化動作の 修正に着目して一	日本スポーツ心理学会		2017年11月	共著	
	著書	資格に役立つスポーツ心理学・ コーチングワークブック	中西出版		2019年10月	単著	

氏 名	吉田 繁		学士(保健衛生学) 修士(医科学) 博士(医科学)					
担当授業 科 目	微生物学(免	微生物学(免疫学を含む)						
	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考		
	論文	Trends in transmitted drug resistant HIV-1 and demographic characteristics of newly diagnosed patients: nationwide surveillance from 2003 to 2008 in Japan.	Antiviral Res	2010年1月	共著			
	論文	Sensitive assay for quantification of hepatitis B virus mutants by use of a minor groove binder probe and peptide nucleic acids.	J Clin Microbiol	2010年12月	共著			
業 績 (最大 5 点まで)	論文	Involvement of an NKG2D ligand H60c in epidermal dendritic T cell mediated wound repair.	J Immunol	2012年4月	共著			
	論文	NKG2D Triggers Cytotoxicity in Murine Epidermal gammadelta T Cells via PI3K-Dependent, Syk/ZAP70-Independent Signaling Pathway.	J Invest Dermatol	2014年2月	共著			
	論文	Japanese external quality assessment program to standardize HIV-1 drug-resistance testing (JEQS2010 program) using <i>in vitro</i> transcribed RNA as reference material.	AIDS Res Hum Retroviruses	2015年3月	共著			